



編集月旦 九月

★「消費税増税」法案に賛成の白票を投じたとき、議員の方々はどんな社会を思い画いていたのでしょうか。☆財源論争ではなく、実態のある「長寿社会」構想を政策の芯柱にする政権を出現させなければ。持続的な経済成長のために。そのために、「総選挙」は3000万票の男性（オトン）＋女性（オカン）パワーの底力を発揮して動向を左右せねば。☆民主党政権での「高齢社会対策」担当大臣が9人目ということをご存じでしたか。☆「高齢社会白書」（平成24年版）がでました。読中私的感想をるる述べています。-☆高齢期の「平均余命」は、「余生」ではなく、「青少年期」「中年期」のあと第三期の人生としての「高年期25年」として新たな計画を立てて愉快に過ごすこと。わたしは15年将来計画を立てています。☆今秋の「S65＋シニアの祭典」はシニア市場（モノとサービス）の成果をリアルに表現するエキスポとして期待されます。☆募集。「自選人生五句」ひとつを辞世の句にしたりして。「座右の銘」生涯越えられない優れた人のことばを。☆17日（第3月曜日）に「敬老の日」を迎えます。10月1日は「国際高齢者の日」です。本誌は熱く記念しますが、ことしもまだ目立つ行事はないでしょう。（9・1）

★9月7日に11年ぶりに新しい「高齢社会対策大綱」が閣議決定されました。画期的な変更は、これまでの「人生65年時代」の「支えられる高齢者」から、「人生90年時代」の「支える高齢者」の存在を明確にしたことにあります。（9・7）

★高齢者（65歳以上）が3000万人に達し（3074万人。高齢化率24.1%。9月15日現在。総務省）、百歳以上が5万人に達し（5万1376人。男性6534人、女性4万4842人。9月1日時点。厚労省）、世界最高齢の木村次郎右衛門さんが115歳で迎え（明治30＝1897年4月9日生まれ。京丹後市）、新「高齢社会対策大綱」が11年ぶりに閣議決定（9月7日）された「敬老の日」を迎えました。各新聞に関連記事は乏しくて、尖閣・原発・党首選ばかりです。（9月17日。第3月曜日）

★平和によって得た高齢期をアジアの民衆との共生のために。（堀 亜起良 記）